

社会福祉法人大蔵福社会

役員等の報酬並びに
費用弁償に関する規程

社会福祉法人大蔵福祉会役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、社会福祉法人大蔵福祉会（以下「法人」という。）の定款第9条及び第24条の規定に基づき、この法人の評議員、理事、監事等の報酬並びに費用弁償に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 役員等とは、評議員、理事、監事、評議員選任・解任委員、入所判定委員、苦情第三者委員をいう。
- (3) 報酬とは、社会福祉法第45条の3第4項第3号に定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であって、その名称のいかんを問わない。費用とは明確に区分されるものとする。
- (4) 費用とは、職務遂行に伴い発生する旅費（交通費、宿泊費を含む。）及び手数料等の経費であって、報酬とは明確に区分されるものとする。

(報酬の支給)

第3条 役員等に対して支給する報酬は、役員等に対して、評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会、行政庁監査又は研修会等（以下「会議等」という。）へ職務執行の対価として、報酬を支給する。

- 2 監事には、前項のほか、監査に係る職務執行の対価として、報酬を支給する。
- 3 第1項の規定にかかわらず、役員で職員としての立場を有する者に対しては、報酬は支給しない。

(報酬額)

第4条 評議員には、定款第9条で定める金額の範囲内で報酬を支給する。

- 2 役員等の報酬の額は、別表第1に定めるとおりとする。

(報酬の支給日)

第5条 役員等の報酬は、職務執行の属する月の翌月21日（ただし、当該日が日曜日、土曜日又は休日に当たるときはその前日）に支払うものとする。

(報酬の支給方法)

第6条 報酬の支給方法は、本人の指定する本人名義の金融機関の口座に振り込むこととする。

- 2 報酬は、法令の定めるところによる控除すべき金額を控除して支給する。

(費用)

第7条 役員等に支払う旅費は、大蔵福社会旅費規程に定める額とする。

- 2 役員等がその職務の遂行にあたって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては、前もって支払うものとする。

(公表)

第8条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行なう。

(補則)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事会の決議を経て、理事長が別に定めるものとする。

附則

この規程は平成29年6月16日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

別表第1 役員等の報酬の額（第4条第2項関係）

(1) 評議員

	日 額
評 議 員	評議員会への出席 (その他、法人及び施設業務含む。) 5,000円

(2) 理事長

	月 額 (年 額)
理 事 長	法人及び施設業務のため出席 20,000円 (240,000円)

(3) 理 事

	日 額
理 事	役員会への出席 (その他、法人及び施設業務含む。) 5,000円

(4) 監 事

	日 額
監 事	監事会・評議員会・理事会への出席 (その他、法人及び施設業務含む。) 5,000円

(5) 評議員選任・解任委員

	日 額
評議員選任・解任委員	評議員選任・解任委員会への出席 3,000円

(6) 入所判定委員

	日 額
入所判定委員	入所判定委員会への出席 3,000円

(7) 苦情第三者委員

	日 額
苦情第三者委員	苦情第三者委員会への出席 3,000円